

at+link 専用サーバサービス標準仕様

(CentOS 6.10 Server x86_64)

以下は、at+link で提供する CentOS の標準仕様です。

お客さまでのカスタマイズ作業時やセキュリティ対策にお役立てください。

なお、お客さまからご依頼いただいたアプリケーションのバージョン指定やオプション作業内容については、お申し込み時のメール等をご確認くださいませようお願いします。

<ご注意>

バージョン情報や各種設定内容は、本仕様書作成時点のもので、セキュリティ対策上、実際の運用開始時には変更される場合もございますので、ご了承ください。

ご不明な点等ございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

CentOS release 6.10 Server

主要アプリケーション・バージョン情報 (2020年12月26日現在) [2021年1月26日運用開始分より使用]

Kernel 2.6.32

Apache	httpd-2.2.15-69.el6.centos	RPM
DNS	bind-9.8.2-0.68.rc1.el6_10.8	RPM
MTA	postfix-2.6.6-8.el6	RPM (cyrus-sasl による SMTP AUTH)
POP3	dovecot-2.0.9-22.el6_10.1	RPM
SSH	openssh-5.3p1-124.el6_10	RPM
FTP	vsftpd-2.2.2-24.el6	RPM
Gcc	gcc-4.4.7-23.el6	RPM
Glibc	glibc-2.12-1.212.el6_10.3	RPM
Perl	perl-5.10.1-144.el6	RPM
PHP	php-5.3.3-50.el6_10	RPM
PostgreSQL	postgresql-server-8.4.20-8.el6_9	RPM
MySQL	mysql-server-5.1.73-8.el6_8	RPM
OpenSSL	openssl-1.0.1e-58.el6_10	RPM

主な起動サービス

	プロセス
httpd	オン
named	オン
postfix	オン
dovecot	オン
sshd	オン
vsftpd	オン
postgresql	オフ
mysqld	オフ

HDD パーティション

/boot	1GB
/	残領域すべて
swap	2GB

当サービスで行っている設定変更点について

各種アプリケーションについて、次のような設定を行っています。

1. メール関連の設定について
 - `cyrus-sasl` を利用した SMTP AUTH 認証方式を導入しているため、メールを送信する際に認証が必要です。
 - `/etc/aliases` に設定されているメール転送設定より、一部のアカウントへの転送を無効にしています。
 - `root` 宛のメールは、`/root/Maildir` へ配送されています。
2. Apache に関して
 - `/etc/httpd/conf/httpd.conf` には基本設定のみを記載し、デフォルトドメイン、バーチャルドメインの設定は、それぞれ設定ファイル(`default_domain.conf` 及び `virtual_domain.conf`)を作成し、読み込んでいます。SSL についても同様(`ssl_default_domain.conf` 及び `ssl_virtual_domain.conf`)です。
 - Apache のドキュメントルートは `/home/homepage/public_html` です。
 - `/home/ユーザー名/public_html` を利用できるように調整しています。
 - CGI(`ExecCGI`)、SSI(`Includes`)の利用が可能となっています。
 - `Indexes` が無効になっています。
 - 言語優先順位で日本語の優先順位を高く設定してあります。
3. BIND に関して
 - `/etc/named.conf` には基本設定のみを記載し、ドメイン設定は `/etc/named/named-content.conf` ファイル内に記載し、読み込んでいます。
4. アクセス制限設定について
 - `ssh`、`ftp` につきましては、`TCP Wrapper` によりアクセス制限を行っています(アクセス制限の追加、変更は随時受け付けております)。
 - `/etc/hosts.deny` 及び `/etc/hosts.allow` には、当サービスのメンテナンス環境が設定されています。
5. アップデートについて
 - `yum update` コマンドでは、`kernel` 関連のパッケージはアップデートされない設定となっています。
6. ログ取得に関して
 - サーバの動作状況を確認する為のログ取得し、サーバ内に保存する為のスクリプトを、`cron` により定期的に行っています。
7. PHP のタイムゾーンについて
 - PHP のタイムゾーンは、`Asia/Tokyo` に設定しています。
8. その他
 - `cron` により、毎日午前 6 時に当サービス `ntp` サーバと同期を取り、時刻を調整するように設定しています。

サーバの仕様に関するお問い合わせは、[お客さまサポート] <http://www.at-link.ad.jp/support/> の「お問い合わせ・作業依頼」よりご連絡をお願いいたします。

以上